
付録 B

自動ラベル機能

【 Version 9.0 : 02 版 】

optimize!
softing



本製品の使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。



本取扱説明書は英文取扱説明書の一部邦文訳ですが、全てにおいて英文取扱説明書の補助手段としてご使用ください。



目次

- ワイヤエキスパートの自動ラベル機能 B-2
- 簡易ケーブル・ラベル名の設定 B-3
- テスト中のラベル編集 B-6
- TIA 606A Class1 (Single Room Horizontal Link) B-8
- TIA 606A Class 2 (Single Building Horizontal link) B-11
- TIA 606A Class 2 (Single Building Backbone Cable) B-14
- TIA 606A Class 3 (Campus Backbone cable)..... B-17
- Free Form ラベル付け方法の設定 B-20

ワイヤーエキスパートの自動ラベル機能

ワイヤーエキスパートには複数の建物、フロア、ルーム、パネルのある大学の様な複雑な場所での試験結果を正確で簡単に保存できる機能があります。自動的にファイルラベルを作り出す方法もしくは手動で入力する方法を本体に設定することができます。

以下の手順に従って、自動ラベル機能の設定を行って下さい。

1. タッチレンズ『SETUP』をタッチして「テストセットアップ」画面に移行します。
2. 『プロジェクト設定』→『ラベル名の候補』を選択すると「ラベル設定」画面が表示されます。
「ラベル設定」画面ではラベル付けの方法を表示しています。「無し」、「簡易ケーブル・ラベル名」、「テンプレートラベル」、「リスト ベイスト テスティング」「Free Form」から選択します。現在のラベル付け設定は、「プロジェクト設定」画面に表示されています。



簡易ケーブル・ラベル名の設定

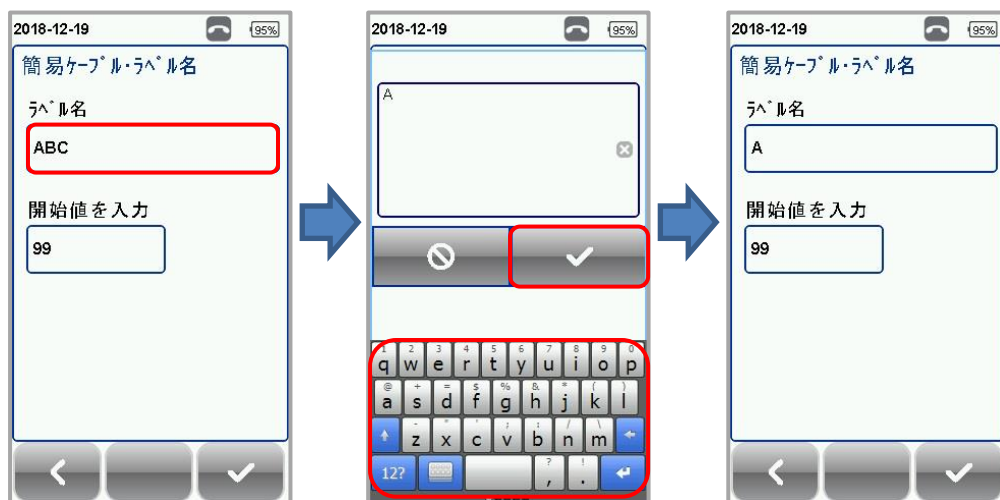
「簡易ケーブル・ラベル名」の設定手順を以下に示します。

1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『簡易ケーブル・ラベル名』を選択して下さい。



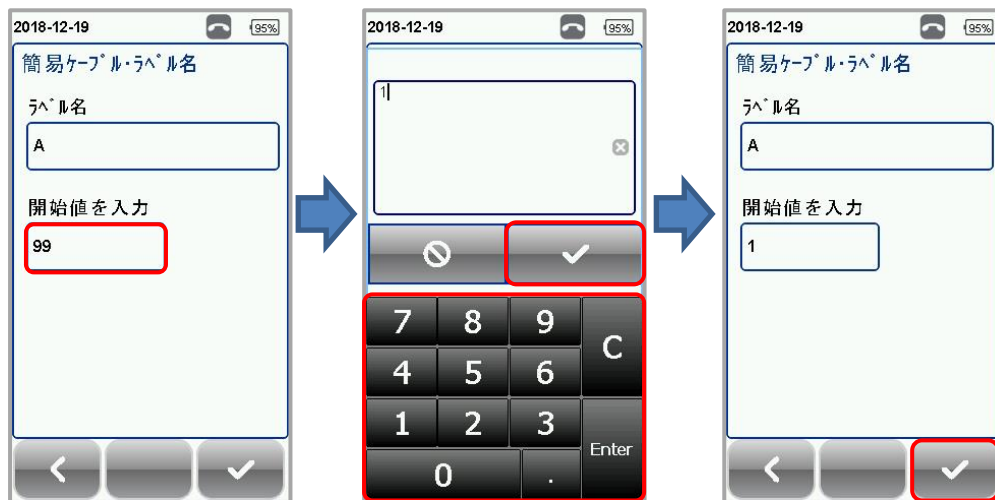
2. まず初めにラベル名称を入力して下さい。ラベル名入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

※ ラベル名称は全てのファイルで固定されます。文字と記号の組み合わせ設定も可能です。例えば下の画面で、『A』がラベル名称として使用されます。



< 付録 B : 自動ラベル機能 > 簡易ケーブル・ラベル名の設定

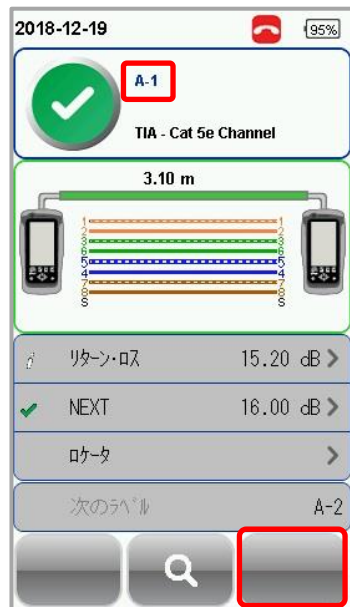
3. 次は、開始値を入力します。開始値入力部分をタッチすると「キーパッド」が表示されます。「キーパッド」から開始値を入力して『✓』をタッチします。
 - ※ 開始値は、1 から 9999 の範囲で入力できます。これらの数は、ファイル名称を区別するために用いられます。
 - ※ 簡易ケーブル・ラベル名方法では、ワイヤーエキスパートは自動的にラベル名称とラベル番号の間に“-”を加えます。ファイル名称は『A-1』、『A-2』・・・『A-9999』、『A-10000』となります。
4. ラベル付け方法を有効にするために、右下の『✓』アイコンをクリックします。



5. 現在のラベル付け設定およびラベル No. を以下の画面で確認できます。



6. 自動保存が ON に設定されているとオートテスト終了後に自動的に設定したラベル名称で保存されます。
※ 自動保存設定方法については、本文を参照して下さい。



結果が保存されていない場合は、フロッピーアイコンが表示されます。

7. 保存されたファイルのリストを参照するためにワイヤーエキスパートの『DATA』ボタンを押して下さい。最近保存されたオートテストファイルのリストを参照することができます。



テスト中のラベル編集

通常は、設定したラベル付け方法に従って結果が保存されます。しかし、自動保存 OFF の場合には、テスト終了後に任意にラベル名を付けることができます。以下の手順に従って、テスト中のラベル編集を行って下さい。

<例>

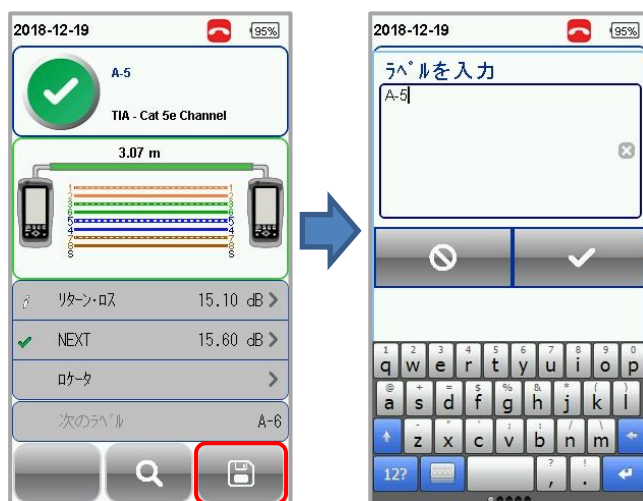
『A-1』→『A-2』→『TEST1』→『A-3』→『TEST2』→『A-4』……

- ・『TEST1』と『TEST2』は、手動で入力します。
- ・『A-3』と『A-4』は、そのまま保存アイコンをタッチすると連続番号で保存できます。

1. 自動保存が OFF の場合、オートテスト終了後、保存アイコン(フロッピー)が画面の右下に表示されます。『保存アイコン』をクリックして下さい。ラベル編集ページが表示されます。

※ 自動保存設定が『OFF』でないとテスト中のラベル編集ができません。

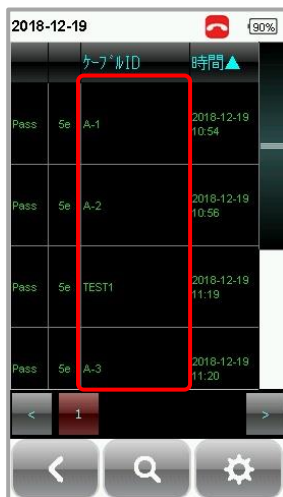
※ そのままラベル名を変更しないで『✓』をタッチすると連続番号で保存できます。



- 「ラベル編集」画面で現在のラベルの名称を手動で編集することができます。「現在のラベル」は現在のテスト結果 (A-3) としてのラベルが表示されています。画面下にある「キーパット」からラベル名称を入力してください。入力後、『✓』をタッチして、変更したラベルで測定結果を保存します。
※ 現在のラベル名称をそのまま使用したい場合は、ラベル名称を変更しないまま『✓』をタッチしてください。(連続番号でラベル名称が保存されます。)



- それ以降のテスト後、連続番号で保存または、自動保存 ON の場合は、以下のようなラベル名称付けとなります。
※ 「A-1」→「A-2」→「TEST1」→「A-3」→「A-4」→・・・
「TEST1」のみ手動でラベル名称を設定



TIA 606A Class1 (Single Room Horizontal Link)

「TIA-606-A Class 1(Single Room Horizontal Link)」ラベルの設定手順を以下に示します。

1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『**テンプレート ラベル**』を選択して下さい。



2. 「テンプレート ラベル」画面で『**TIA-606-A Class 1 Single Room Horizontal Link**』を選択します。
3. 「開始 ラベル」を入力してください。「開始ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『**✓**』をタッチします。

※ TIA-606-A Class 1 Single Room Horizontal Link について：(例) 1A-A1

1A : フロアと機器室を表します。フロアは数字、機器室は文字入力

A1 : パネルとポート/ポジションを表します。パネルは文字、ポート/ポジションは、数字入力



4. 「終了 ラベル」を入力してください。「終了ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

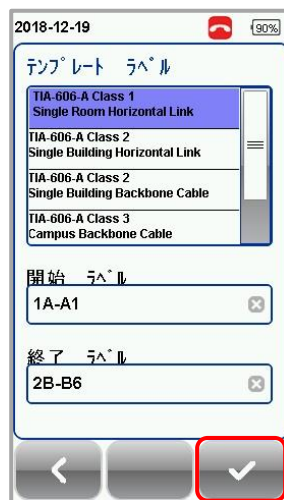
※ 開始：1A-A1、終了：2B-B6 の場合は、以下のようなラベル名称となります。

「1A-A1」→「1A-A2」→・・・→「1A-A6」→「1A-B1」→「1A-B2」→・・・→「2B-B6」

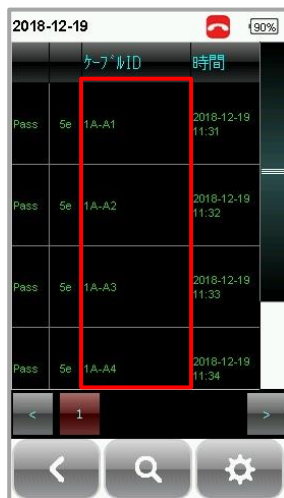
※ 文字は、アルファベット順通りに増加します。



5. 「開始 ラベル」、「終了 ラベル」の入力完了後、画面右下の『✓』をタッチします。設定が有効となります。



6. 一連のオートテストは現在以下のファイル名称で作成されます。



7. このラベル付け方法では、自動保存が OFF の場合、オートテストファイル保存前に簡易ケーブル・ラベル名設定と同様手順でラベル名称を自由に変更できます。



TIA 606A Class 2 (Single Building Horizontal link)

「TIA-606-A Class 2(Single Building Horizontal link)」ラベルの設定手順を以下に示します。

1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『**テンプレート ラベル**』を選択して下さい。



2. 「テンプレート ラベル」画面で『**TIA-606-A Class2 Single Building Horizontal Link**』を選択します。
3. 「開始 ラベル」を入力してください。「開始ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『**✓**』をタッチします。

※ TIA-606-A Class 2 Single Building Horizontal Link について : (例) 1A-A1

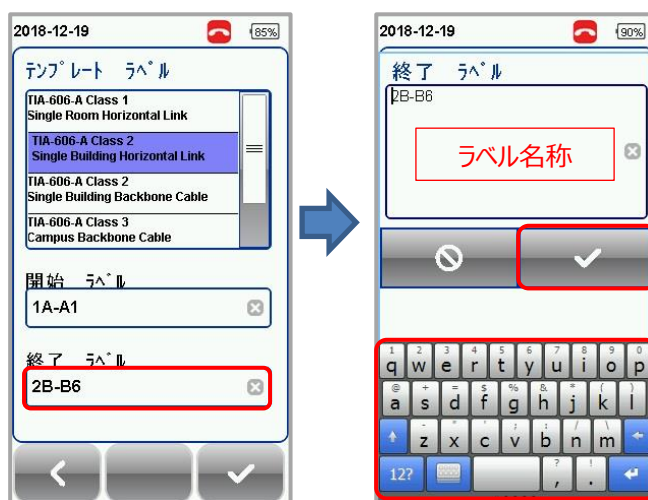
1A : フロアと機器室を表します。フロアは数字、機器室は文字入力

A1 : パネルとポート/ポジションを表します。パネルは文字、ポート/ポジションは、数字入力



< 付録 B : 自動ラベル機能 > TIA 606A Class 2 (Single Building Horizontal link)

4. 「終了 ラベル」を入力してください。「終了ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

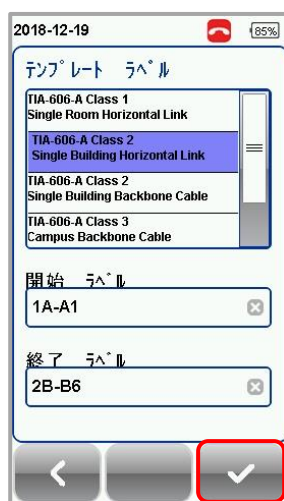


5. 「開始 ラベル」、「終了 ラベル」の入力完了後、画面右下の『✓』をタッチします。設定が有効となります。

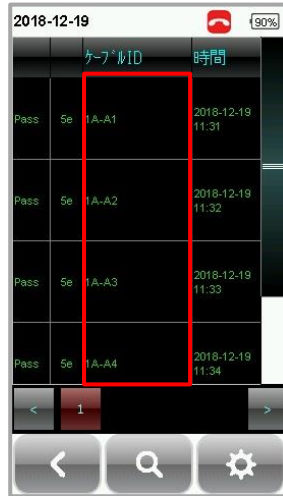
※ 開始：1A-A1、終了：2B-B6 の場合は、以下のようなラベル名称となります。

「1A-A1」→「1A-A2」→・・・→「1A-A6」→「1A-B1」→「1A-B2」→・・・→「2B-B6」

※ 文字は、アルファベット順通りに増加します。



6. 一連のオートテストが以下のファイル名称で作成されます。



7. このラベル付け方法では、自動保存が OFF の場合、オートテストファイル保存前に簡易ケーブル・ラベル名設定と同様手順でラベル名称を自由に変更できます。



TIA 606A Class 2 (Single Building Backbone Cable)

「TIA-606-A Class 2(Single Building Backbone Cable)」ラベルの設定手順を以下に示します。

1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『**テンプレート ラベル**』を選択して下さい。



2. 「テンプレート ラベル」画面で『**TIA-606-A Class2 Single Building Backbone Cable**』を選択します。
3. 「開始 ラベル」を入力してください。「開始ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

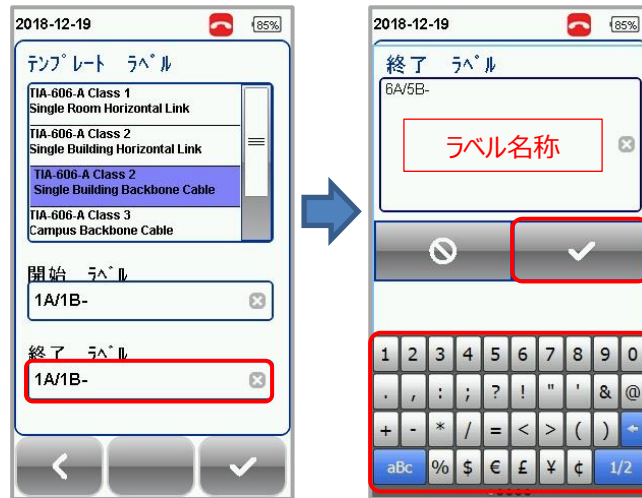
※ TIA-606-A Class 2 Single Building Backbone Cable について : (例) 1A/1B-

1A : 機器室 1 のフロアと機器室名を表します。フロアは数字、機器室名は文字入力

1B : 機器室 2 のフロアと機器室名を表します。フロアは数字、機器室名は文字入力



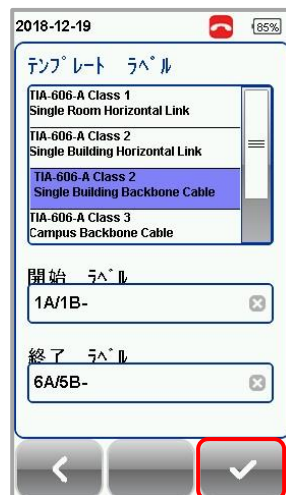
4. 「終了 ラベル」を入力してください。「終了ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。



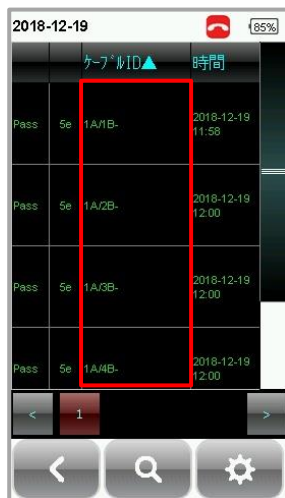
5. 「開始 ラベル」、「終了 ラベル」の入力完了後、画面右下の『✓』をタッチします。設定が有効となります。

※ 開始 : 1A/1B-、終了 : 5A/5B- の場合は、以下のようなラベル名称となります。

「1A/1B-」→「1A/2B-」→・・・→「1A/5B-」→「2A/1B-」→「2A/2B-」→・・・→「5A/5B-」



6. 一連のオートテストが以下のファイル名称で作成されます。



7. このラベル付け方法では、自動保存が OFF の場合、オートテストファイル保存前に簡易ケーブル・ラベル名設定と同様手順でラベル名称を自由に変更できます。



TIA 606A Class 3 (Campus Backbone cable)

「TIA-606-A Class 3(Campus Backbone cable)」ラベルの設定手順を以下に示します。

1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『**テンプレート ラベル**』を選択して下さい。



2. 「テンプレート ラベル」画面で『**TIA-606-A Class3 Campus Backbone Cable**』を選択します。
3. 「開始 ラベル」を入力してください。「開始ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

※ TIA-606A Class 3 Campus Backbone Cable について：(例) A-1A/B-1B-

A-1A：ロケーション 1 のビル名と機器室のフロアと名称を表します。ビル名と機器室名は文字、機器室のフロアは数字入力

B-1B：ロケーション 2 のビル名と機器室のフロアと名称を表します。ビル名と機器室名は文字、機器室のフロアは数字入力



< 付録 B : 自動ラベル機能 > TIA 606A Class 3 (Campus Backbone cable)

4. 「終了 ラベル」を入力してください。「終了ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。

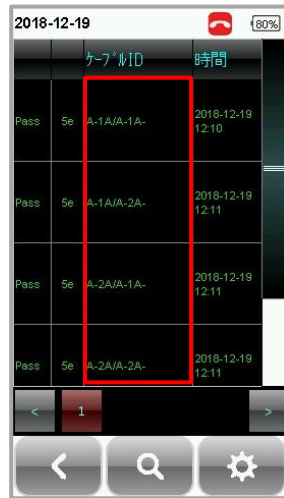


5. 「開始 ラベル」、「終了 ラベル」の入力完了後、画面右下の『✓』をタッチします。設定が有効となります。

※ 開始 : A-1A/A-1A-、終了 : A-3A/A-2A- の場合は、以下のようなラベル名称となります。
「A-1A/A-1A-」→「A-1A/A-2A-」→「A-2A/A-1A-」→・・・→「A-3A/A-2A-」



6. 一連のオートテストが以下のファイル名称で作成されます。



7. このラベル付け方法では、自動保存が OFF の場合、オートテストファイル保存前に簡易ケーブル・ラベル名設定と同様手順でラベル名称を自由に変更できます。



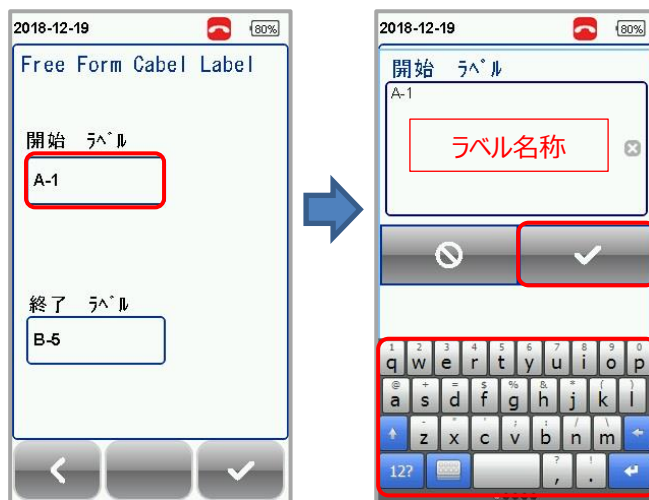
Free Form ラベル付け方法の設定

「Free Form」ラベルの設定手順を以下に示します。

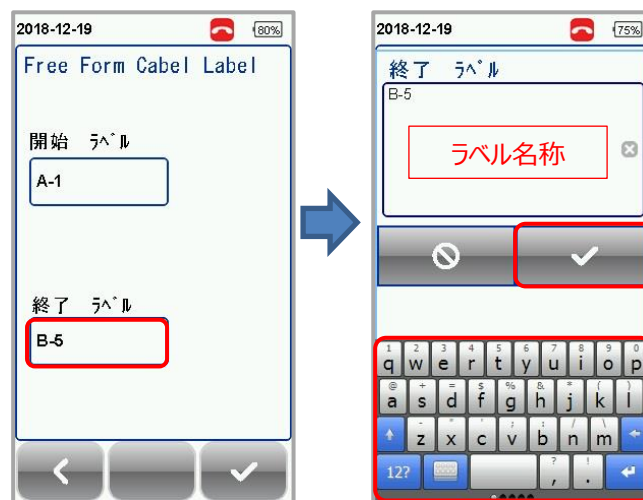
1. 「ケーブル・ラベル候補」画面で『Free Form』を選択して下さい。



2. 「開始 ラベル」を入力してください。「開始ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。



3. 「終了 ラベル」を入力してください。「終了ラベル」入力部分をタッチすると「キーパット」が表示されます。「キーパット」からラベル名を入力して『✓』をタッチします。



4. 「開始 ラベル」、「終了 ラベル」の入力完了後、画面右下の『✓』をタッチします。設定が有効となります。

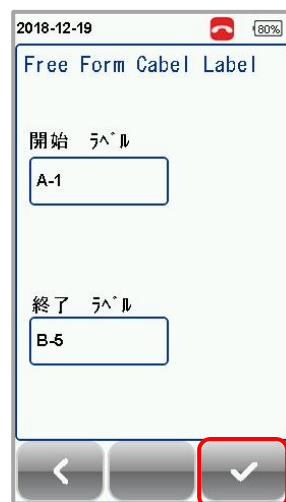
※ 開始：A-1、終了：B-5 の場合は、以下のようなラベル名称になります。

「A-1」→「A-2」→……→「A-5」→「B-1」→……→「B-5」

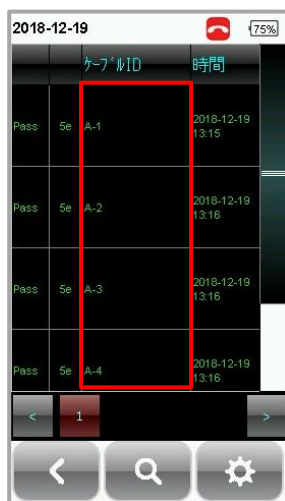
開始ラベルと終了ラベルで異なるラベル部分がインクリメントされます。

(例) 開始：1A1B、終了：3B1B の場合は、以下のようなラベル名称になります。

「1A1B」→「1B1B」→「2A1B」→「2B1B」→「3A1B」→「3B1B」



5. 一連のオートテストが以下のファイル名称で作成されます。



6. このラベル付け方法では、自動保存が OFF の場合、オートテストファイル保存前に簡易ケーブル・ラベル名設定と同様手順でラベル名称を自由に変更できます。

